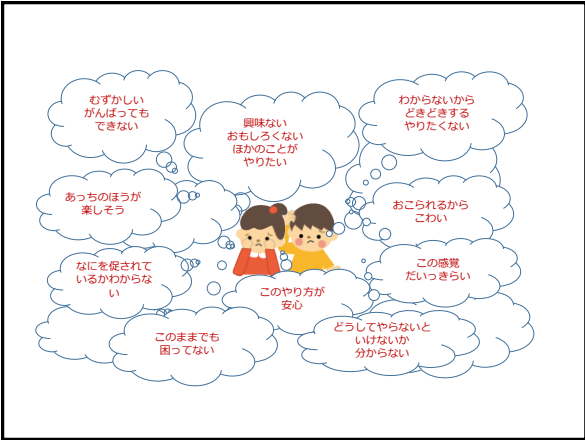
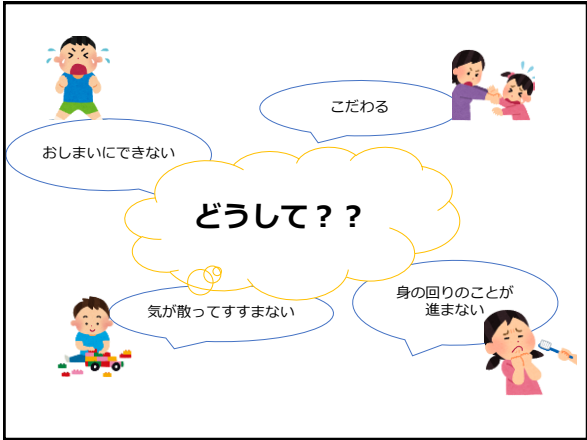


発達障害の基礎知識と対応（対応編）
～日常生活の対応の工夫～



戸塚地域療育センター
保育士

こんなことはありませんか？

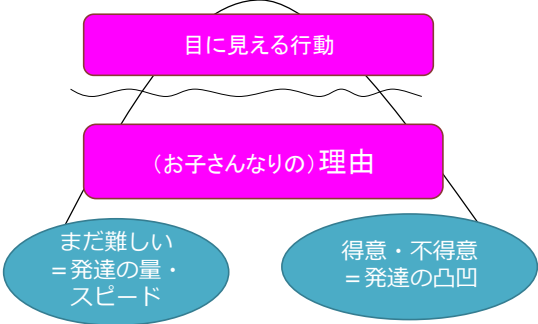


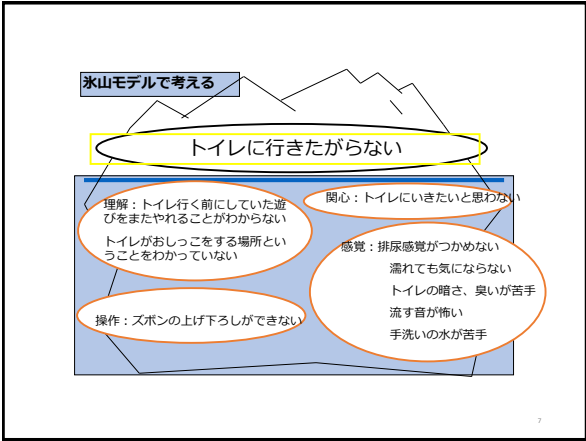
対応の2ステップ

STEP 1 行動の理由を考えましょう

STEP 2 特性に合わせて対応を考えましょう

STEP1 行動の理由を考えましょう
＝氷山モデル





STEP 2 特性に合わせて対応を考えましょう

対応のコツ

- ①環境を整える
- ②同じやり方で具体的に&肯定的に
- ③わかりやすいコミュニケーション



対応のコツ① 環境を整える

- ・ぱっと見て何をやるかわかるように
- ・不適切な行動にならないように予防する



対応のコツ② 同じやり方で具体的に&肯定的に

一日の流れ
ものごとの手順



ルーティーンに！



対応のコツ③ わかりやすいコミュニケーション

視覚的手がかりを活用する
シンプルなかき + 見せるかわり
見えないものを見るように(順番、ルールなど)



大人と子どもの誤解が少なくなる
「わかる！」につながる



①着替えが1人ではすみません



1 理由

見える物に注意が向きやすい
おもちゃが気になる

2 対応

刺激が少ない場所で着替える
興味が向きそうな物は隠す

1 理由

着替えの手順がわからない

2 特性に合わせた対応

目に見える形で手順を示す

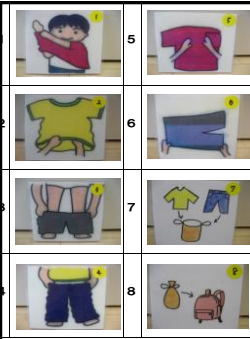


着替える順番に左から置いて
いる



着替え場所を示す座布団

着る服を順番に①②③
脱いだ服はここへ

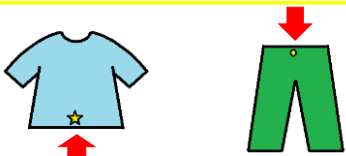


1 理由

- ・1人でチャレンジしてもうまく
いかないから嫌
- ・やり方はわかっても操作が難しい

2 対応

着脱しやすい洋服
介助方法、介助量の工夫



ボタンやアップリケ等を持つところにつける

1 理由

感覚が過敏
チクチクする服がいや

2 特性に合わせた対応

受け入れやすい素材の洋服を選ぶ

②遊びのおしまいができずに
泣いてしまいます



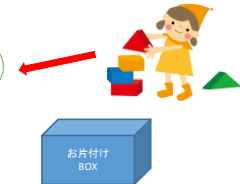
1 理由
おしまいにするまでの心の準備が必要

2 対応
タイマーや時計など使用し、事前におわりを共有する。



1 理由
おしまいにした後何をするのか
見通しがもてない

2 対応
靴下やリュックをみせ、次の活動をわかりやすく伝える。



③順番が待てません



1、理由
目にみえない暗黙のルールがわからない
待っている間、何をしていたらよいかわからない

2、対応
順番を視覚的に示す
やることを具体的に伝える



④買い物中、落ち着きがありません



1 理由
何をするのがわからない（暗黙がわからない）

2 対応
事前に視覚的に行動を伝える



1 理由

好きな場所を記憶し、行動がパタンになっている

2 対応

ルートの見直し、お店の変更、買い物お休み

⑤食事中、立ち上がってしまうことが多く困っています



1 理由

毎回嫌いなものを食べさせられる
嫌いな物をどうしたらいいのかわからない

2 特性に合わせた対応

- ・ 食べきれる量を配膳
- ・ 苦手なものは控える工夫
- ・ 嫌なものやおしまいにしたい物を入れるお皿やトレイを活用する



1 理由

注意されていることがわからない

2 対応

声かけは具体的 & 肯定的に

「立たない」 → 「座ります」
「早く」 → 「長い針〇までにピカピカにしよう」
「こぼさない」 → 「お茶碗もちます」
「おなかぺったん」

工夫を行うにあたり大切なこと

①お互いに理解し合うための手段



②優先順位をつける
先送りも大切

おさらい

対応のコツ

- ①環境を整える
- ②同じやり方で具体的に & 肯定的に
- ③わかりやすいコミュニケーション

→ 安心感・達成感
適切な行動の獲得

先手必勝！

わかった！
できた！

安心・信頼できる
人との関係

わかる・安心できる環境

さいごに

- ・ お子さん一人一人のペースに合わせて
- ・ 時には休憩も♪